

伊勢志摩国立公園の概要

1. 指定

○昭和21年11月20日 指定
(戦後初の指定)

2. 位置

○三重県中央部に位置し、紀伊半島の東端に突出した志摩半島の大部分を占めている。その区域は、紀伊半島東端の志摩海岸から、その西につながる南伊勢町の海岸まで、内陸部では、伊勢神宮及び宮域林一帯が含まれており、おおそ南北40km, 東西50km にわたっている。



3. 面積

○55,544 ha

4. 特色

- 沈降と隆起を繰り返し形成されたリアス式海岸や海蝕崖。
- 伊勢神宮とその背後に広がる宮域林。宮域林には常緑広葉樹の自然林が残っている。
- 京阪神や中京方面からの交通の便がよく、古くから「伊勢参り」で有名な伊勢神宮への参拝、海水浴などの海浜レジャー、イセエビやアワビに代表される海産物の味覚探訪などが主な利用形態で、年間約793万人(平成21年)が訪れている。
- 日本の国立公園の中で最も定住人口が多く、人と自然のつながりの深い公園。



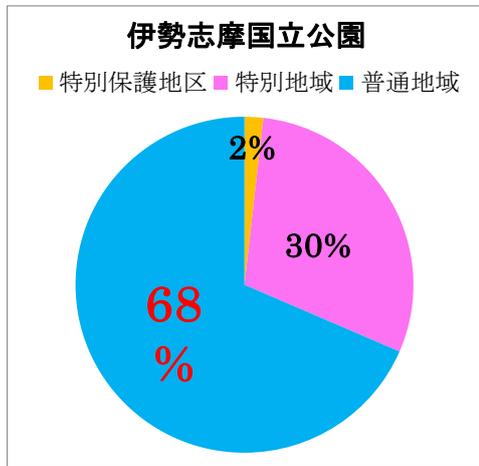
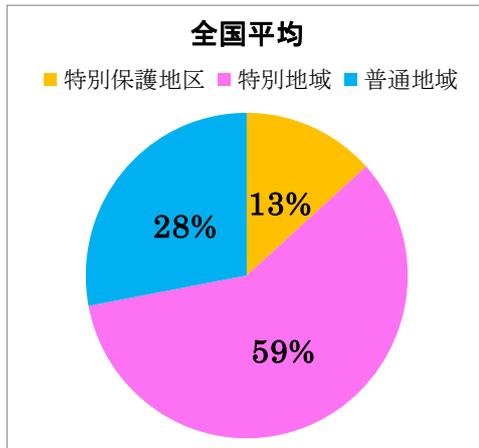
横山展望台からの英虞湾

5. 関係自治体

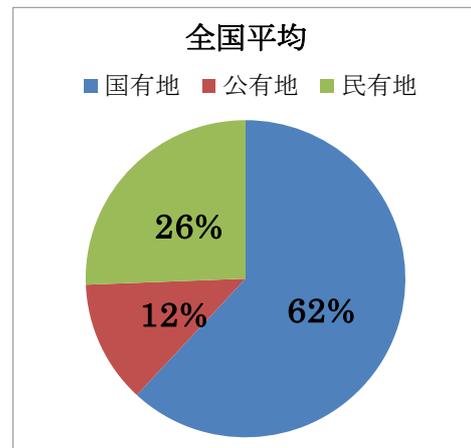
○三重県、伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡南伊勢町

※面積内訳

①地種区分別



②土地所有別



※代表的な風景



(左上) 神宮宮域林

(上) 神島のカルスト地形

(左) 見江島展望台から熊野灘